

科目ナンバー	EDU-2-010-ky			科目名	日本語教授法演習I		
教員名	渡邊 知釈			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	第二言語・外国語としての日本語教育に関する専門的知識を学び、授業の遂行に必要な技能の訓練を行う。「日本語教授法演習I」では、国内外の日本語学校等の集中教育において一般的な、言語形式重視・PPP(Presentation-Practice-Production)型・直接法による初級日本語指導を扱う。受講者は、広く使われている日本語教科書を用いて初級文型・文法のポイントを整理しながら授業の設計を考え、教案の作成、教材・教具の準備、実演練習、模擬授業などを通して、第二言語・外国語としての日本語の教え方を学ぶ。※学外実習として市内の日本語教育機関を訪問し、実際の日本語授業を見学する予定である。詳細は授業開始後に通知するが、リフレッシュ休暇中に行う可能性があるため、受講者は予定を空けておくこと。						
到達目標	■日本語の初級で扱われる文型・文法・語彙・文字・音韻等について、学習者の視点から分析し、媒介語を使わずに理解可能なインプットを提供できる。■教員による指導のもと、日本語学習者に新規言語項目を教授するための具体的な導入と練習をデザインし、指導案と教材を作成し、小規模な授業を実施することができる。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力		実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	授業はグループワークを基本とし、演習の形式で行う。受講者グループは、授業内または授業外で、割り当てられた課題について討議し、指導案や教材・教具を作成し、発表を行う。発表後はグループおよび全体での意見交換・振り返りを行う。受講者同士のディスカッションや講師からのフィードバックを通して、課題の改善点を自ら考える。この授業では「受講者同士の学び合い」が重要となるため、受講者には課題に真摯に取り組み、意見交換で積極的に発言することが求められる。						
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング		課題解決型学修	○		
受講条件 前提科目	「日本語教授法」の単位を取得済みであることが強く推奨される。また、「日本語教育概論」の単位も取得していることが望ましい。 「日本語教授法」の単位が未取得のままこの科目の履修を希望する者は、【自己紹介・履修希望理由】をA4用紙1ページに書き、シラバス授業時に持参し、担当教員と面談すること。この提出がない場合、または確固とした受講理由がない場合は、受講を認めない。						
アセスメントポリシー及び評価方法	■授業・グループワークへの貢献：30% ■課題・発表(毎回の宿題、小レポート、指導案・教材作成、模擬授業発表など)：50% ■期末試験：20%						
教材	『みんなの日本語初級I 第2版本冊』スリーエーネットワーク、ISBN:9784883196036						
参考図書	■金子史朗『日本語授業の進め方生中継：そう、これが知りたかった!：日本語教師ハンドブック』アルク 9784757430976 ■山崎佳子ほか『日本語初級(1)大地ーメインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-13: 978-4883194766						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	1.オリエンテーション／仮名の指導①						
授業外学修内容	仮名の教材について調べる					時間数	1
2週目							
授業学修内容	2.仮名の指導②／音韻・アクセント／語彙の導入						
授業外学修内容	小学生と日本語学習者の仮名の指導の違いについて調べる					時間数	1
3週目							
授業学修内容	3.指導項目の特定／課の指導の流れ						
授業外学修内容	課題：L2指導項目の特定					時間数	2
4週目							
授業学修内容	4.項目の導入と練習／真偽疑問文／否定						

授業外学修内容	課題:L3指導項目の特定	時間数	2
5週目			
授業学修内容	5.疑問詞疑問文／格助詞「の」		
授業外学修内容	課題:L4指導項目の特定	時間数	2
6週目			
授業学修内容	6.「これ・それ・あれ」／疑問詞「何」／「この・その・あの」		
授業外学修内容	課題:L5指導項目の特定	時間数	2
7週目			
授業学修内容	7.100以上の数／動詞の分類／動詞丁寧形の活用／移動の動詞／交通手段		
授業外学修内容	課題:L8指導項目の特定	時間数	2
8週目			
授業学修内容	8.い形容詞・な形容詞		
授業外学修内容	課題:L10指導項目の特定	時間数	2
9週目			
授業学修内容	9.存在文と所在文		
授業外学修内容	課題:L14指導項目の特定・動詞のグループの整理	時間数	2
10週目			
授業学修内容	10.動詞て形		
授業外学修内容	模擬授業準備	時間数	4
11週目			
授業学修内容	11.定型会話練習とコミュニケーション活動		
授業外学修内容	模擬授業準備	時間数	4
12週目			
授業学修内容	12.日本語学校見学(または模擬授業準備)		
授業外学修内容	見学レポート提出(または模擬授業準備)	時間数	6
13週目			
授業学修内容	13.模擬授業①／フィードバック		
授業外学修内容	模擬授業準備	時間数	6
14週目			
授業学修内容	14.模擬授業準備		
授業外学修内容	模擬授業準備	時間数	6
15週目			
授業学修内容	15.模擬授業②／フィードバック		
授業外学修内容	総復習・試験準備	時間数	6
上記の授業外学修時間の合計		48	
その他に必要な自習時間		42	

Number	EDU-2-010-ky	Subject	Teaching Practice for Japanese I
--------	--------------	---------	----------------------------------

Name	渡邊 知釈 (Watanabe Tomoseki)	Year and Semester	Spring 2020	Credits	2
Course outline	<p>You will learn expertise on Japanese language education as a second/foreign language, and will be trained in skills to teach actual lessons. This course deals with the “PPP” (Presentation, Practice, Production) format of language instruction combined with a direct method, which is commonly adopted in intensive courses at Japanese language schools etc., both in Japan and overseas. We will use a textbook most widely used to make lesson plans while summarizing grammatical points for basic sentence patterns, create teaching materials, demonstrate simulated lessons. *As an extracurricular practice, we will visit a Japanese language institution in the city and observe an actual Japanese class. Details will be notified after the course starts, but it will be most possibly planned during the refreshment holiday, so you should leave your schedule open.</p>				